

本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

いろいろな状況に合う文末表現が、会話で学べる一冊

『自然に使える文末表現』

データ

1 監修・執筆：佐々木瑞枝、執筆：石塚京子、大木理恵、小松由佳、築晶子 2 アルク (〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12 / TEL. 03-3327-1101 FAX.03-3323-2021 URL www.alc.co.jp 3 2002年9月30日 4 4-7574-0659-2 5 A5判132ページ 6 1,050円

▽機能ごとに学んで、練習問題で確認

本書はアカデミック・ジャパニーズ日本語表現ハンドブックシリーズの10冊目となります。今まで学んだ文末表現について「意味はわかるけれど、使えない」と感じている学習者は多いと思います。そんな人のために大学のキャンパス等で話されている会話の中でよく使われる約100の文末表現を機能ごとにまとめてあります。

本書は第1章「意志・願望・感情」第2章「要求・勧誘」第3章「判断・伝聞」第4章「聞き手への態度」の4つの章からなっています。各章の構成は、大きく2つに分けられます。

まず、キャンパスライフ会話（つまり、大学キャンパス場面での会話）です。次にその会話文に出てきた一つ一つの文末表現について以下のような説明が続きます。

- 1) 文末表現の簡単な説明・言い換え
- 2) その表現を使う時の注意点
- 3) 接続の形
- 4) その表現を使う相手
- 5) 会話例
- 6) 語訳（英語・中国語・韓国語）

この本の特色は大学キャンパス場面での会話文と、そこで出てきた文末表現に説明文をつけ、話者（自分）と会話の相手からなる応答の形になった例文で、「いつ、どこで、だれに使えるのか」、実際の使い方をわかりやすく示している点です。そして各章末には練習問題があります。

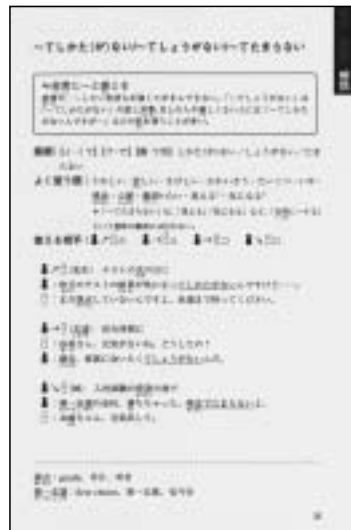
▽学習者のレベルにより、さまざまな使い方ができる

本書の使い方として次のようなやり方が紹介されています。たとえば第1章「感情」で

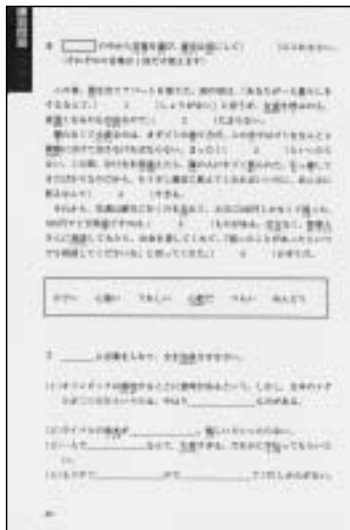
すが、「キャンパスライフ会話集2（感情）」でどのような文末表現が使われているのかイメージをつかみます。次に意味や接続の形、さらにどういう相手に対して使えるかを具体的な会話例をもとに勉強します。それらを一通り勉強したあと、練習問題で確認します。その他の方法としては、先に練習問題をやり、間違えたところを「キャンパスライフ会話集」で確認し、その表現に関する説明を読みます。そのあとでもう一度練習問題に戻り勉強することもできます。各章の「キャンパスライフ会話集」の会話例は8つだけですが、それぞれの文末表現にも会話例が数例ありますので、テキスト全体ではかなりの文末表現を学ぶことができます。また、各章末にあるコラムという読み物も適切な文末表現を選ぶためのヒントになるでしょう。



P. 32



P. 33



P. 44



P. 46

日本の行事を絵や写真、短い文章、歌、遊びで知る

『えほん百科 ぎょうじのゆらい』

データ

1山嵯泰正 2講談社 (〒112-8001 東京都
やまざきやすまさ こうだんしゃ とうきょうと
文京区音羽2-12-21 / TEL. 03-5395-3625
ぶんきょうくおとわ
FAX. 03-3945-4838 URL www.kodansya.
co.jp/ 32002年10月20日 44-06-211545-X
ねん がつはつ か
5B5判80ページ 61,470円
ばん えん

日本には、季節ごとにさまざまな行事があります。日本で昔から行われてきたもの、中国や欧米から伝わり、形を変えて日本の生活に溶け込んだものもあります。

この本は、現在も日本の各地で行われている行事について、①今の様子②その行事の意味や由来③楽しみ方を紹介する本です。行事は1月から12月までの月の順番で配列されています。もともとは、日本の家庭で行事にちなんだ歌や遊びを楽しんだり、親子でともに行事の由来を説明したりするために作られた本です。子どもが親しみを持てるように、すべてのページにカラー印刷の絵や写真があり、文章もほとんどひらがなで書かれています。

たとえば、4月の「おはなみ」では、最初に

家族連れのお花見の様子が絵で紹介され、次に「おはなみのゆらい」としてその歴史がづつられ、そして、「おはなみべんとをつくろう」で紙やビニールなどの身近なものでお弁当を作る遊びが紹介されています。5月の「たんごのせっく」では、③の部分でこいのぼりやかぶとの作り方と、「こいのぼり」の歌が紹介されています。各ページの「おうちの方へ」というコラムは大人向けの詳しい説明です。巻末には「おやこでチャレンジぎょうじクイズ」と、行事と旧暦(昔のカレンダー)の関係を説明した「語り伝えたい、行事の意味と由来」があります。

海外の日本語のクラスでこの本を利用する場合、いろいろな

方法が考えられます。各行事の②の部分の文章は読解の練習に使えます。③の部分は初等教育段階での教室活動に応用することもできそうです。また「おうちの方へ」の部分は教師が授業の準備をする際に役立つでしょう。



P. 44



P. 45

わかりやすいイラストで、漢字の意味を学ぶ

『絵でわかるかんたんかんじ160』

データ

1武蔵野市帰国・外国人相談室教材開発グループ 2スリーエーネットワーク (〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 (松栄ビル) / TEL. 03-3292-5751 FAX. 03-3292-6195 URL www.3anet.co.jp 32002年9月25日 44-88319-235-0 5B5判116ページ 61,575円

日本語の勉強で漢字がいっぱい難しい、という学習者の声をよく聞きます。実際、漢字には一つ一つ意味があり、さまざまな読み方があるなど、独特の性質があります。

本書は『絵でわかるかんたんかんじ80』の続編です。前回と同じように、特に非漢字圏から来日した、小学校低学年の子どもたちが、漢字に慣れながら学習を進めていけるように作られた教材です。日常生活や学校の場面でよく使われる漢字が選ばれていますから、学習者にとって親しみやすく興味を持って学習でき、教師にとっても扱いやすいでしょう。

1課ごとに動物、天気、地形、方角、季節な

どのテーマがあり、新しい漢字がそれぞれ4～6つ導入されます。

本書の最大の特徴は、一つ一つの漢字が、①音(読み方)、②形、③意味をわかりやすく説明したイラスト、の3つのポイントとともに紹介されていることです。同じイラストが練習問題にもふんだんに使っており、漢字の音・形・意味をくり返し結びつける役割を果たしています。

基本的な練習問題のほかに、各課ごとに関連する読み物やクイズ、歌も盛り込まれ、楽しく学習が進められるようになっていきます。

『かんたんかんじ80』『かんたんかんじ160』を合わせると、240の漢字を学ぶことができます。実際に多くの非漢字

圏の学習者が300の漢字を学ぶのに苦労しています。本書はそのような学習者にとって、また指導する教師にとって役立つ一冊になることでしょう。



P. 36



P. 37

日本語のキーワードから引けるカタカナ語辞典
にほんご ひ こじてん

『カタカナ類語辞典』
るいごじてん

データ

1三省堂編修所編 2三省堂 (〒101-8371
東京都千代田区三崎町2-22-14 TEL. 03-
3230-9412 FAX. 03-3230-9569 URL www.
sanseido-publ.co.jp/ 32002年10月25日
44-385-13492-8 5B6判変型538ページ
61,890円

「グローバリズム」、「インフォメーションテ
クノロジー」、などの影響を受け、日本語の中
でカタカナ語は、もはや欠くことができない言
葉となっています。

本書は、日常的に使われるカタカナ語の類語
や関連語5000語を集めたカタカナ語辞典です。
日本語のキーワード(見出し語)から引けるよ
うになっている点が特徴です。見出し語に対応
するカタカナ語の類語を、基本類語と発展類語
の二段階で示しています。基本類語には用例が
ついていて、言葉の意味だけでなく、使い方も
分かるようになっています。発展類語は、小見
出しごとに分類して解説しています。

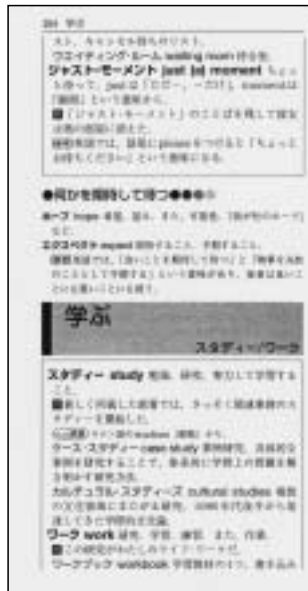
例えば、見出し語「学ぶ」で引いてみると、

基本類語として「スタディー」「ワーク」が取
り上げられています。発展類語としては、【授
業や講義を受けて学ぶ】という小見出しで「レ
クチャー」「レッスン」「ゼミナール」が、【学
問的な学び】という小見出しで「アカデミック」、
【学んで習得する】という小見
出しで「ラーン」「エクササイ
ズ」「ドリル」「タスク」がそれ
ぞれ取り上げられています。

また、原語の語源を示した
「ちょっと語源」、カタカナ類
語に関連した映画や小説などの
作品タイトルを示した「作品」、
発展的な情報を示した「参考」
など、理解を深めるための情報
がある見出し語もあり、一つの
見出し語からカタカナ語表現の
広がりを感じることでもできるで
しょう。

巻末には、カタカナ語の同音
異義語と多義語が付録としてま
とめられていて、一つのカタカ

ナ語でも使われる場面や
状況によって意味が変わ
ってくるのが確認でき
るでしょう。



P.384



P.385

ちんぷんかんぷんの擬音語擬態語もすらすら理解できる

『現代擬音語擬態語用法辞典』
げんたいぎおんごぎたいごようほうじてん

データ

1飛田良文、浅田秀子 2東京堂出版 (〒
101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
32002年9月30日 44-490-10610-6 5B6
判694ページ 65,145円

みなさんは「にこにこ笑う」「にっと笑う」
「にやにや笑う」「げらげら笑う」「くすくす笑
う」と聞いてどのような笑い方を想像しますか。
日本語では動詞の前に擬音語擬態語をつけると、
表される様子が全く変わります。これらは日本
人のものの見方を強く反映しているため、うま
く使えば、状況をより豊かに表現することがで
きます。しかしながら、日本語学習者がこれら
の表現を自由に使えるようになるには、単に意
味を覚えるだけでなくその語が持つ微妙な意味
やその他の類似表現との違いまで覚えなければ
ならないため、習得は容易ではありません。

本書は、擬音語擬態語の意味だけでなく暗示
されている心理的な意味についてもあわせて説

明した本格的な辞典です。取り上げられている
見出し語は1064語ですが、同族語(その語と同
じ仲間)に属する語)や関連語(その語と関連のあ
る語)を含めると総語数は約2200語になります。

用例は、ことわざ、標語、CM、民謡などか
ら典型的な例を集め、使い方にかたよりがない
ように配慮されています。また、解説には、そ
の語の中心となる意味に加え、その語の持つイ
メージの分析、類義
語との比較、その語
から伝わる心理的な
意味などについての
記述もあります。教
師や学習者は用例と
解説をよく読むこと
で、言葉ではうまく
説明できない微妙な
意味も理解できるで
しょう。

見出し語は50音順
に並んでいるので普
通の辞書のように

引けますが、巻末の
索引には見出し語の
他、関連語、関連事
項も並んでいるので、
キーワード(例:「笑
い」)から自分が知
りたい擬音語擬態語を調べることもできます。



P.353



P.352

P.18～20 は以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

雄谷進、木山登茂子、大隅敦子、島田徳子、押尾和美 (執筆順)
おおよすむ きやまと も こ おおすみあつこ しまたのりこ おしおかずみ しつぷしん